

学習コンテンツ 利用の手引き

コンテンツタイトル みんなで使うパソコン

対象学年 小学校 中学年

学習のねらい 学校のパソコンを使うときの約束について考え、自ら進んで守れるようにする。

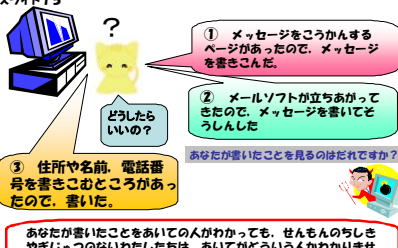
学校で指導する際の学習展開例

	児童の学習活動とスライド等の番号	指導上の留意点
導入	○スライド１～６ ・ 家でパソコンを使うとき、どんなことをしているか思い出し、発表する。	○家でパソコンを使った経験のある児童に挙手をさせる等して、使用経験のある児童やその使用内容について把握する。
展開	○スライド７ ・ 学校で、パソコンを始めようとして困った経験を発表させる。 ○スライド８～１２ ・ どうしてそんなことが起こったのか考え発表させる。 ○スライド１３ ・ 学校で、パソコンを使って学習をしているとき、こんな表示が出てきたらどうしますか。 ○スライド１４～１５ ・ 個人情報を書き込む等の表示が出てきたとき、学校ではどうしたらよいか考え、発表させる。	○パソコンを始める時に発生する、 ・ 画面がディスプレイの上下左右によっていた。 ・ いきなり「スキャンディスク」画面が表れた。 ・ デスクトップの壁紙が他のＰＣと違っていた。 ・ アイコンがへっていたり、ふえていたりした。 ・ 見ていたらスクリーンセイバーがかかった。 ・ ・ ・ ・ ・等のトラブルについて発表させる。 ○一つひとつのトラブルについて、どうしてそんなことが起こったと思われるか発表させる。 ・ わからない事例は教師が説明する。 ・ 家では、してもよいことであっても、学校のみんなが使うパソコンではいけないことがあることに気付かせる。 ○インターネット関係で、よく出て来る表示を提示し、そのときどうしたか児童に発表させる。 ・ はじめに、家での経験なのか、学校での経験なのか、はっきりさせてから発表させる。 ○家では、してもよいことであっても、学校のみんなが使うパソコンではしてはいけないことがあることに気付かせる。
まとめ	○スライド１６ ・ この時間の学習を振り返り、学校のみんなですべてのパソコンを使用するとき気を付けることを話し合う。	○自分のボールを家で使うときと、学校のボールを休み時間に使うのとでは、使い方が違うように、パソコンにも、学校で使うときにはマナーや約束があることを自覚させるようにする。

学習コンテンツの解説

他の学習環境でも同じであるが、学校で使う場所やものは、次には他の人が使う。自分の都合が良いようにその環境を変えたり、自分が使い終わったからといって後始末をしないで行ったりしてはいけない。しかし、パソコンが普及してきて、家でもパソコンを使っている児童は多い。それで、家で覚えたことを学校のパソコンでもしてみたくなったり、友達に教えなくなったりして、学校のパソコンを家のパソコンと同じように操作することがある。その中には、みんなで使うことが前提である学校のパソコンでもらっては困ることもある。パソコン担当としては、そういうトラブルによく出会う。一つひとつの詳しいことは、それぞれの使い方や学ぶことにして、ここでは、取りあえず、トラブルに結びつくものや、パソコンを使ったときに「どうしたらいいの」と児童が聞きたくなるような、日常的なマナーや約束手的なものを取り上げる。学校で使うパソコンは、家で使うパソコンとはちがい、学校のみんなで使うものだという意識付けにむすびをつけたい。

<p>スライド 1</p>	<p>スライド 1</p> <p>「みんなでつかうパソコン」</p> 	<p>○ 本時の学習について知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅でパソコンを使っている子どもが何名くらいいるか把握するとともに、家でのパソコンの使用と学校でのパソコンの使用について、使い方のちがいや、学校で使用するときに気を付けることについて学習することを知らせ、本時の学習の動機付けを図る。
<p>スライド 2 ～ 6</p>	<p>スライド 2</p> <p>ひろちゃんはパソコンがとくいです。家では、お家の人といっしょに、楽しくパソコンをつかっていきます。あなたはパソコンでどんなことをしていますか？</p> <p>ホームページをみる</p> <p>けいじばんやチャットに書きこむ</p> <p>おもしろい動画をワッワ</p> <p>メールをこうかんする</p> <p>ゲームや音楽を楽しむ</p> <p>水戸雄の</p> 	<p>○ 家では、パソコンを使ってどんなことをしているか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットを利用した、ホームページの閲覧、メールの交換、掲示板やチャット、そしてゲームの画像がある。でてきた画像をクリックすると拡大された画像がでる。そこで、児童の経験を発表させたい。終わりは、「次へ進む」をクリックするとスライド7へ進む。
<p>スライド 7</p>	<p>スライド 7</p> <p>学校のパソコンは「みんなでつかうもの」です。</p> <p>今、あなたがつかっているパソコンは、つぎは、ほかの人がつかいます。</p> <p>学校で、みんなでつかうものは、ほかに、どんなものがありますか？</p> <p>ワッワ</p> <p>どんなことに気をつけて使っていますか。</p> 	<p>○ 学校のパソコンはみんなで使うものであることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達はそんなことは当たり前のことだと思っているであろうが、パソコンに向かうと、普段、家でやっていることを、いつもやっていることだということで、自分の思うように設定を変えてしまうことがあるので、みんなで使うものであることをあらためて自覚させる。
<p>スライド 8 ～ 12</p>	<p>スライド 8</p> <p>Q さて、もんだいです。</p> <p>ひろちゃんは、学校でパソコンをつかうとき、家でしているように、つぎのようなことをしたいと思っています。してもよいでしょうか？</p> <p>スクリーンセーバー</p> <p>①デザインや待ち時間をかえたい。かえるとどうなるの？</p> <p>②自分の好きな写真や絵にかえたい。かえるとどうなるの？</p> <p>③自分がかいやすいように、ふやしだり、へらしだりしたい。かえるとどうなるの？</p> <p>かべがみ</p> <p>ショートカット</p> 	<p>○ スクリーンセーバー、かべがみ、ショートカットについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ここでは、パソコンを立ち上げたときに初めに映るデスクトップの画面で、子ども達がこれくらいしても構わないと思うであろうことを取り上げた。よく使っている子ほど構わないと思うであろうが、なれない子は、あれっと思うし、どうしたらよいかかわからない子もいる。

<p>スライド 13</p>	<p>スライド13 こういうページがでてきたらどうしますか？</p>  <p>ホームページ メールソフトが立ち上がった 名前や住所、アドレスなどが書きこめるようになっているフォーム けいしげん</p>	<p>○ メッセージや個人情報を書き入れるページが出てきたらどうしたらよいか考える。</p> <p>・メッセージや個人情報を書き込むようなページは、原則として、何も書き込まないように指導する。必要がある場合は、家では大人の人に、学校では先生に聞いて、判断をしてもらうようにする。決して、自分だけの判断で書き込むことのないように指導する。</p>
<p>スライド 14</p>	<p>スライド14 Q さて、もんだいです。 学校で、インターネットをつかってしらべ学習をしているとき、つぎのようなことをしてしまいました。どうすればよかったでしょうか。</p>  <p>① メッセージをこうかんするページがあったので、メッセージを書きこんだ。 ② メールソフトが立ち上がったので、メッセージを書いてどうしした。 ③ 住所や名前、電話番号を書きこむところがあったので、書いた。</p> <p>あなたが書いたことを見るのはだれですか？</p>	<p>○ 情報を送信することがないように気をつけさせる。</p> <p>・家でメールや掲示板、チャットをしている子がいるかもしれないが、同じ感覚で、学校でパソコンを使っているときに、いろいろなメッセージが出てきて、知らないうちにメッセージや個人情報を送信してしまうことがないようにする。送った情報は、パソコンの中ではなく、機械の向こうで、だれかが見ることを気付かせたい。</p>
<p>スライド 15</p>	<p>スライド15</p>  <p>① メッセージをこうかんするページがあったので、メッセージを書きこんだ。 ② メールソフトが立ち上がったので、メッセージを書いてどうしした。 ③ 住所や名前、電話番号を書きこむところがあったので、書いた。</p> <p>あなたが書いたことを見るのはだれですか？</p> <p>あなたが書いたことをあいての人がわかって、せんもんのうちさやざじゅうのなわたりは、あいてがどういう人かわかりません。よくわからないところへじょうほうをおくるのはやめましょう。</p> <p>※ ひつようなときは、先生に聞きましょう。</p>	<p>○ もしも書き込んだ場合どういうことになると思うか話し合う。</p> <p>・書き込んだ場合、どういう人がそれを見るか分からないので、情報の内容によっては、危険を伴うものであることを知らせる。また、パソコンに詳しい人が調べれば、どのパソコンから発信されたものであるかが分かることを知らせ、責任ある行動を取ることを自覚させる。</p>
<p>スライド 16</p>	<p>スライド16 学校のパソコンは「みんなでつかうもの」です。</p>  <p>今、あなたがつかっているパソコンは、つぎは、ほかの人がつかいます。</p> <p>学校のパソコンをつかうときは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくったもののままでは、せんせいのにじにしたいやめしょう。 ・メールやけいしげんなどむづいようがあるときは、せんせいにきこめしょう。 ・つかいけいめいめいとをきこめにして、きりきりめいしょう。 	<p>○ これから、学校のパソコンを使うときにはどうしたらよいか話し合う。</p> <p>・学習のまとめに使う。パソコンも他の学校の用具と同じように、元通りにするように指導する。保存やショートカットの作成や削除等は先生の指示に従う。メールや掲示板、チャットの使用についても、先生の指示を仰ぎ、自分で勝手に使用しないことを確認する。</p>

参考文献等

- ・全体構想

<http://www.ishikawa-c.ed.jp/> 石川県教育センター 情報倫理 小学生向 ele-pack

- ・掲示板の紹介（スライド4，13）

<http://www.nenrin.or.jp/ishikawa/> （財）石川県長寿生きがいセンター ゆうゆう広場